

ヒダクチナガハバチ

兵庫県：C

Nipponorhynchus bimaculatus

環境省：情報不足(DD) —

種の概要

体長4.5～5.5mm程度。口吻は突出し、長さは1.5mm程度。体色は黒色で、脚は黒色と黄白色の斑状。♂の腹背板2～3節には黄紋がある。頭部に点刻なく、光沢がある。腹部第1背板は深く湾曲自然状態の良好な山地に生息し、成虫は早春に出現する。幼虫はネコノメソウ類の若い種子を食べる。



写真提供：内藤親彦

国内分布

本州

県内分布記録

宍粟市、養父市、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		○

特記事項

全国的に希少性の高い種で、これまで岐阜県、奈良県、栃木県で記録されていた。県内では北西部の扇ノ山と音水溪谷で初めて記録された。

保護上の留意点

生育環境の保全が重要